

[事例] C社様

風土改革プログラム

～改革と定着への実践支援カリキュラム～



現 状

- ・現場では過去のやり方（古いマネジメントスタイル）が主流で、継続的に「自ら変化する」「チャレンジし続ける」ことへの難易度が高い。
- ・変化に対応せず現状に甘んじているため、経営陣から管理職層に至るまでショック療法が必要である。

ご 提 案

- ・管理職の方が自ら変化する事への支援を行い、定着化につなげます。
その際のポイント3点をプログラムへ反映いたします。

変化に対する動機付け

管理職を中心に社員の方が、新しいことに挑戦し続ける文化を醸成します。

成功イメージを共有する

自らの強みを再発見し、個人の業績向上につなげます。

組織の一体感をつくる

互いに研鑽し合いながら行動するために管理職へフィードバックを行います。

プログラムの目的



目 的

会社全体の活性化を通じて、「部下育成」「業績向上」を実現する。

ウィルビジョンの強み



代表の泉を始め、私達は実践者として現場経験から学んだ成功体験・失敗体験と、100社以上の事例の多さを強みに、特に以下3つの強みがあります。

「現場力」

経営者から現場スタッフまで、あらゆる階層の方々と1対1の対話コーチングを行ってきた経験から、組織の幅広い層の視点からの研修が行えます。

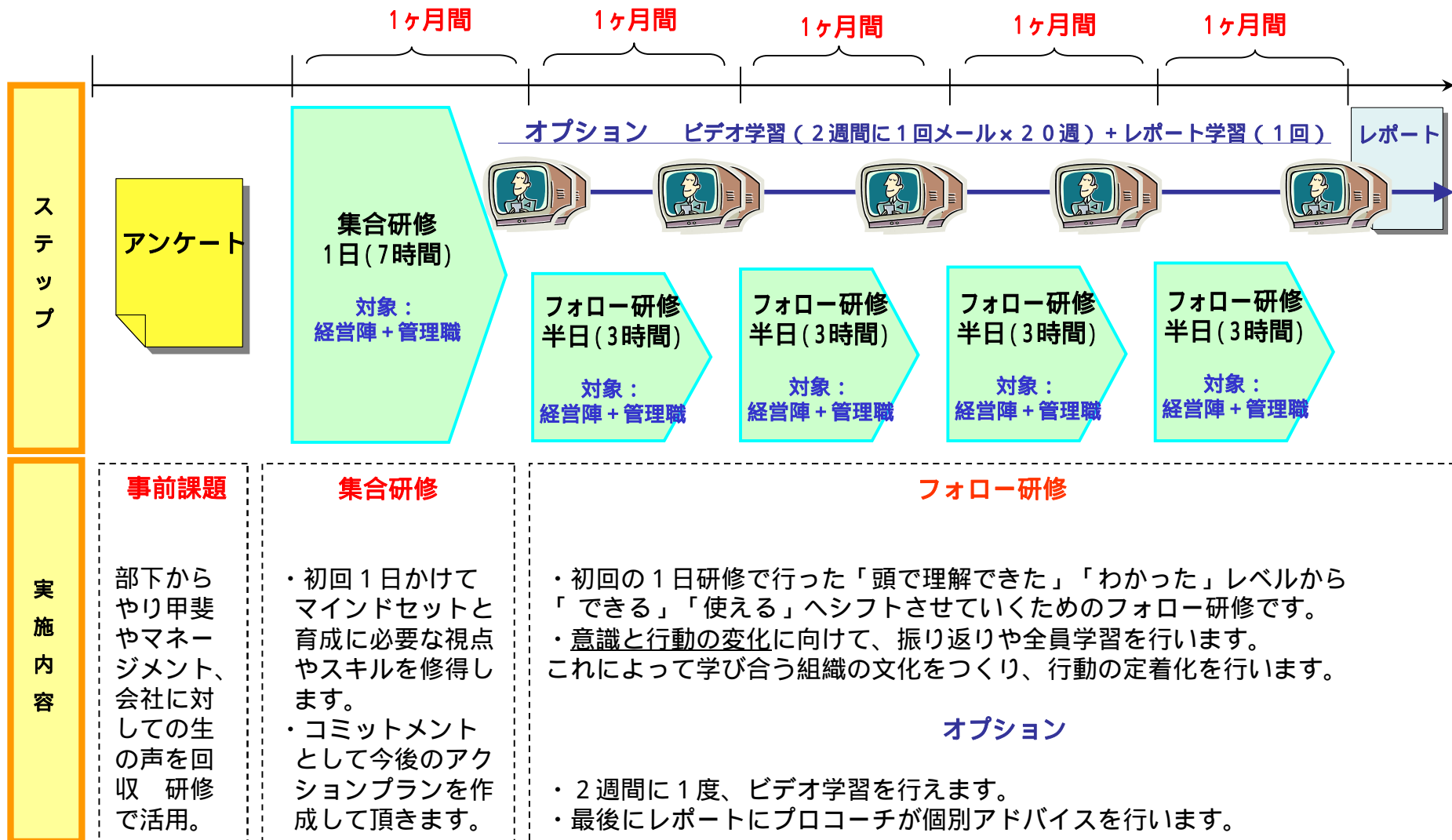
「ガチンコ力」

組織の中の不満・対立・しがらみなど、ネガティブな要因と向き合いながらガチンコで組織を活性化させてきた実績があります。
私達は組織の见えない問題 & 課題を可視化し、解消できる専門家です。

「一体感醸成力」

研修の受講者同士の一体感を生み出すことで、学習効果を高めることができます。

プログラムの全体像



オプションの特徴



100社以上の組織で実績のある「個の活性化」と「組織の活性化」手法をベースにオプションプログラムによって学習効果を高めます。

「精神的な成長と行動の変化を促す」

意識と行動の変化は次の4つの段階を経て成長と変化をします。

意識していない 行動変わらない

意識している 行動変わらない

意識している 行動変わる

意識していない 行動変わる

参加者の無意識の領域に気づきを与え、意識(マインド・セルフイメージ)を高めながらスキルの習得を促します。

「実践・定着の工夫」

集合研修にて動機付け・知識学習・体験学習を行った後は、現場実践と同時に2週間に1回のビデオ学習(約20分)を行うことで定着への仕組み化ができます。

「個別対応レポート」

ビデオ学習の最後にレポートによる個別対応を行います。

プロコーチから個々のマネジメントスタイルに合わせた個別のフィードバックとアドバイスをレポートベースで行います。

- ・2週間に1回メールにて、ストリーミングのURLを送り、各自のパソコンにて視聴して頂きます。
- ・各ビデオ(約20分)の流れは、悪い例 コーチング 良い例 となり、追体験学習ができます。
- ・コーチ役は研修講師である泉が登場するので、研修内容と連動し、リマインド効果と学習効果が高くなります。

タイトル

人間理解

1. 考のくせ
2. 思考の枠
3. 思考の二面性

共感の技術

1. 共通項を見つける
2. ニュートラルになる
3. 「どう感じたか」にアンテナを立てる

聴く技術

1. 傾聴の基本
2. 傾聴するときの言葉
3. 傾聴するときの態度

ほめる技術

1. 観察する
2. 変化に気づいて伝える
3. 2つのほめ言葉(「You message」と「I message」)

質問の技術

1. 「IF」質問で視点を変える
2. 「WHAT」「WHY」「HOW」質問で思考を深める

アドバイスの技術

1. よく聴く
2. 理解を得る
3. 物語として伝える
4. 選ばせる

しかる技術

1. 影響の小さいうちにしかる
2. 自分を客観視する
3. FOR YOUでしかる
4. 課題の特定と解決への合意

フィードバックの技術

1. まず良い点を認めてから改善点をフィードバックする
2. 因果関係を説明してフィードバックする
3. 具体的に換えられることをフィードバックする

やる気を高める技術

1. わくわく感を持たせる
2. 小さな達成感を積み上げる
3. 内発的動機づけをする

セルフコーチング

1. 「それはちょうどいい」と受け止める
2. 自分自身に質問をする
3. 意味づける 「学習」に意味づける、「チャンス」に意味づける、「変化する機会」に意味づける

会社と代表の紹介

- 設立 : 2004年5月
- 代表者 : 泉 一也
- 所在地 : 東京都江東区大島1-1-14
- 従業員 : 社員6名(役員・アルバイト含む)
- パートナーコーチ : 4名(社外契約講師及びコーチ)

泉 一也(いずみ かずや)のプロフィール

神戸生まれ。

大学卒業後、システム開発会社の人事採用部門の管理職を経て、2002年にコーチング専門会社に入社。

2004年ウィルビジョン株式会社設立、代表取締役任に。

ビジネスコーチ株式会社のパートナーコーチを務める。



「現場と実践」にこだわりを持ち、100社以上の企業コーチングの経験から生み出された、「人・組織のやる気と能力を引き出す手法」を自ら実証する。特にクライアントの現場に、『ガチンコ精神』で深く入り込み、組織全体の組織風土を変化させ、業績向上に導く。組織の基本は「人」にありと、広範囲の業種を支援。



実績企業は、日本オース・エレベーター、住友電設、アサヒビール、東京電力、内田洋行、コクヨS&T、ヤクルト本社など(敬称省略)

著書に「企業病に効く! ビジネスコーチング」(綜合法令刊)